

わたしのまちの
SDGs×協働×ESD

EPO CAFE



2019. 1. 12. Sat. 12:30~16:30

地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

東京都渋谷区神宮前 5 丁目 53-67

まちと里山と、 わたしのカンケイ

～地域循環共生圏って、なに？～

参加費：500 円 (お茶代) 定員：30 名

わたしのまちの ESD×協働×SDGs

EPO カフェとは…

SDGs は、わたしたちがわたしたちのまちについて、同じ未来を見るための旗印。

そのためにどんな行動が必要かを考え、行動に移すための ESD (持続可能な開発のための教育)。

そして、それをつないでいくために必要なパートナーシップ (協働)。

英語でも日本語でも、その本質は変わらず、本当はとても身近なキーワード。

わたしたちのまちにある、たくさんの取組が、きっとみんなの未来へのヒントになる。

身近な取り組みを、ESD、協働、そして SDGs で読み解き、共有し、環境とパートナーシップについて対話するカフェです。

こんなテーマで
お話します！

わたしの課題意識は…
「“サステナブル” って
なんだろう？」

今日みなさんとお話したいことは…
「まちとサトの
よりよい関係について」

モデレーター
環境省 総合政策統括官グループ
環境計画課 岡野 隆宏 氏



地域循環共生圏

主催：関東地方環境パートナーシップオフィス (関東 EPO)

協力：地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

■EPO カフェでは、何をするの？


毎回、プレゼンターをお呼びして、レクチャー & ワークショップを実施します。
プレゼンターは、

- わたしのまちには、こんな課題があります。
 - わたしは、それを何とかしたくて、こんなことをしています。
 - わたしのまちは、こんなにすてきなところですよ。
 - わたしは、それを知って欲しくて、こんなことをしています。
- など、みなさんの活動にも取り入れられる活動のヒントをたくさん持った、それぞれの地域のキーパーソンです。

【こんな人に来て欲しい♪】

- ・身近な地域資源を守りたい人
- ・地域資源を活用して地域活性化をしたい人
- ・ESD の地域での事例に興味がある人
- ・SDGs の地域での事例に興味がある人
- ・地域でのパートナーシップ作りに悩んでいる人

■プログラム

12:30	開会	趣旨説明
12:45	話題提供	「地域循環共生圏について」 環境省 総合政策統括官グループ 環境計画課 岡野隆宏氏
13:05	事例紹介	■事例紹介 ①木南 有美子氏/特定非営利活動法人 PIARAS—手漉き和紙を普及する会— ②松村 正治氏/特定非営利活動法人よこはま里山研究所 ③原 慎一郎氏/パルシステム生活協同組合連合会 商品開発本部 産直部 交流政策課 ④木村 義彦氏/一般社団法人おらっぺにいがた市民エネルギー協議会 ■シェアタイム
14:25	休憩 	
14:40	トークセッション	モデレーター：岡野隆宏氏 パネラー：事例紹介者
15:40	まとめ	
16:30	終了	

【こんなお話が聞けます】

- ・伝統工芸×自然環境の持続可能性
- ・都市近郊にある里山の価値
- ・食料と自然資本のつながり
- ・持続可能な暮らしとエネルギー

■お問い合わせ・お申込みはこちらから

メール：kanto-epo@geoc.jp

TEL: 03-3406-5180 / FAX : 03-3406-5064

申込み URL: https://www.geoc.jp/mail_form/3/

[こちら>>>>>](#)



お名前(フリガナ)	
メール	
ご所属	
お住まいの都県	
メルマガ配信	地球環境パートナーシッププラザからのメールニュースを 希望します ・ 希望しません



SDGsとは、国連が2015年に採択した「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。